



ABiS Symposium
Forefront and Future of Electron Microscopic Imaging
参加者アンケート 結果（参加 126 名 うち回答 39 名）

1. あなたの区分をお聞かせください

- ABiS の支援関係者 / 11
- 利用者 / 7
- いずれでもない / 21

2. あなたの職名をお聞かせください

- Senior faculty (教授・准教授相当職) / 11
- Junior faculty / 8
- ポスドク / 5
- 学生・大学院生 / 8
- 企業研究者 / 1
- テクニカルスタッフ / 4
- 客員講師 / 1
- 大学研究員 / 1

3. 本シンポジウムが開催されることを何で知りましたか？（複数回答可）

- イベント案内ポスター / 8
- ABiS のウェブサイト / 9
- ABiS からのメール案内 / 12
- ABiS 支援者の紹介 / 8
- ABiS 利用者の紹介 / 2
- 生理研からの連絡 / 4
- 顕微鏡学会からの連絡 / 3
- 解剖学会からの連絡 / 9

4. 本シンポジウムに参加した感想をお聞かせください

- とても満足 / 20
- やや満足 / 16
- 普通 / 3
- やや不満 / 0
- とても不満 / 0

<シンポジウムについて自由にご記入ください>

- 様々な分野のイメージング技術の話を知ることができ、非常に有意義だった。
- 以前から CLEM に興味があったため、その演題があってよかった。
- 普段参加している学会にはないトピックの話が多く、大変勉強になった。
- 参加費無料でこのような高度な内容のシンポジウムに参加できてありがたかった。
- 貴重な話をいくつも聞くことができた。より技術的な口演があるとよいと思う。
- 分野外ですので、濱先生がどのような業績を残されたかもう少し丁寧に説明していただけたらもっと楽しめたと思う。

5. 今後イメージングに関するどのような研究支援があればいいと思いますか？

- 画像の問題点や観察方法の改善点を教示してくれるような支援がほしい
- Imod の使い方の初心者でもわかる講習会を開いていただけると助かる
- 使用量の補助のほか preparation のような前処理の解説
- FIB-SEM のワークショップ
- 免疫電顕の抗体スクリーニング
- SBF-SEM の segmentation サポート
- High resolution function imaging
- Automated segmentation for EM neural structure
- Cell tracking

6. 今後どのような技術講習会やイベントがあればいいと思いますか？

- 一般向けの公開イベント
- 技術支援者が対象の、継続的な基礎～中難易度のワークショップ
- より特定の技術に特化したイメージングに関する技術交流
- 顕微鏡について理論と実践を学生・ポスドクに教えてくれるような1～2週間の合宿
- 臨床の疾患との関連などについての臨床医や研究者を交えたイベント
- 画像解析について、基礎編から
- 電顕ユーザーが増えるよう学部学生レベルでも参加できるセミナー
- 画像処理法の紹介や画像処理ソフトの利用法
- サンプル別の試料作成について
- 画像データの3D再構築や定量解析のしくみ
- 電子顕微鏡で3Dイメージング・large area imaging
- Automated segmentation for EM neural structure
- Deep learning for microscopic images

7. ABiS へのご意見、ご要望がございましたらお聞かせください

- 既存の支援で大変満足しているが、認知をさらに広げるとよいと思った。科研費取得者、また学振
研究員にも ABiS 制度が知られるとより研究の幅が広がると期待している。
- 支援者間でももう少し横の繋がりができるとうれしい。自施設では完全には対応できない事例があった
場合、迅速かつ円滑に他の施設に案内できると利用者の側からも非常に助かると思われる。
- どのような画像解析が可能なのか事例集をまとめてもらえると利用者に役立つと思う。
- イメージングを行う博士課程の学生への奨学金制度があると助かる。
- プロジェクト終了後もこのような取り組みが続いてほしいと思う。